

映像アーカイブ の 現在と未来

日本映像アーキビスト協会(JAMIA)では、慶應義塾大学アート・センターとの共催により、協会初の公開イベントを実施します。本イベントは映像アーカイブの課題や今後の可能性をともに考え、協力しながら、ネットワークを広げることを目的としております。

JAMIA会員や映像・映像産業に携わる方はもちろん、学芸員、研究者、技術者、学生、そして映画や映像アーカイブに興味・関心のあるすべての方々のご参加をお待ちしております。

日時

2024年6月22日(土)

10:45~18:00 [予定]

*19時より懇親会予定(懇親会は希望者のみ/会費は別途徴収)

場所

慶應義塾大学三田キャンパス
東館6F G-lab [150席予定]

*オンラインでの参加も可能(申込時にご希望を選択ができます)

料金

一般 = 3,000円

学生 = 1,000円

*オンライン同料金

*JAMIA会員 = 無料(事前に年会費を振り込んでいただく必要があります。学生会員は年会費も無料です。)

*慶應大学の学生は無料で参加できます。ご希望の方はJAMIA事務局(info@jamia.jp)宛にメールで「JAM2024参加希望」とお送りください。事務局より折り返し、応募フォームをお知らせします。

申込

Peatix (<https://jamkuac2024.peatix.com/view>) にて受付中! *スマートデバイス等で右下QRコードを読み取りアクセスもできます。

JAMIA会員 = 受付中。JAMIAへの新規入会をご希望の方は、JAMIA事務局 (info@jamia.jp) へお問合せください。

10:45 開会挨拶(慶應義塾大学アート・センター)

10:50 ベーシックガイダンス「映像を集め、残し、活かす仕事」

映像の世紀のはじまりから、今日の視聴覚文化を未来へと受け渡す映像アーキビストの仕事をご紹介します。

登壇者: 松山ひとみ(神戸映画資料館 研究員)

11:50 ライトニングトーク 第1部(3分×6-8組予定)

12:20 昼休憩

13:40 セッション①「映画フィルムの今、これから」

誕生から129年、今なお映画の表現に欠かせないフィルム。現場に従事する方々に、フィルムの現在と魅力を伺います。

モデレーター: 郷田真理子(川崎市市民ミュージアム 学芸員)

登壇者: 山本泰貴(コダック ジャパン)、

高田淳((株)IMAGICAエンタテインメントメディアサービス カラリスト)

14:50 セッション②「イロイロ大変!? 映画の色。」

古い映画のデジタル修復版は、その映画の当時の色を再現出来ているのか? ベテラン

タイマーと現役カラリストとともに語ります。

モデレーター: 山下泰司((株)WOWOWプラス 映画Blu-rayプロデューサー)

登壇者: 鈴木美康(元(株)IMAGICA タイマー/元 国立映画アーカイブ技術職員)、

阿部悦明((株)IMAGICAエンタテインメントメディアサービス カラリスト)

16:10 セッション③「映像アーカイブにAIを利用することについての期待と課題、

今後の展望」

AIを利用した映像アーカイブのツールと利用例も紹介します。

モデレーター: 前川充(オムニアート/日本映像アーキビスト協会 理事)

登壇者: 渡辺智暁(国際大学GLOCOM主幹研究員/

教授/研究部長、Creative Commons Japan理事長)

17:20 ライトニングトーク 第2部(3分×6-8組予定)

17:50 閉会挨拶(日本映像アーキビスト協会)

18:00 終了予定

19:00 懇親会

*懇親会の会費(当日徴収)は5,000円を予定しています。

開催
内容

申込ページアクセスQR



JAMIA

The Japan Association of
Moving Image Archivists

一般社団法人

日本映像アーキビスト協会

主催: 一般社団法人日本映像アーキビスト協会

慶應義塾大学アート・センター

協力: 株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス(ほか調整中)

◆イベントに関する問合せ先: JAM2024実行委員会 jamiaeventjam@gmail.com

*ライトニングトークでの発表をご希望する方もJAM2024実行委員会宛にご連絡ください。

*イベントの最新情報はJAMIAのHP(<https://www.jamia.jp>)でご確認ください。

